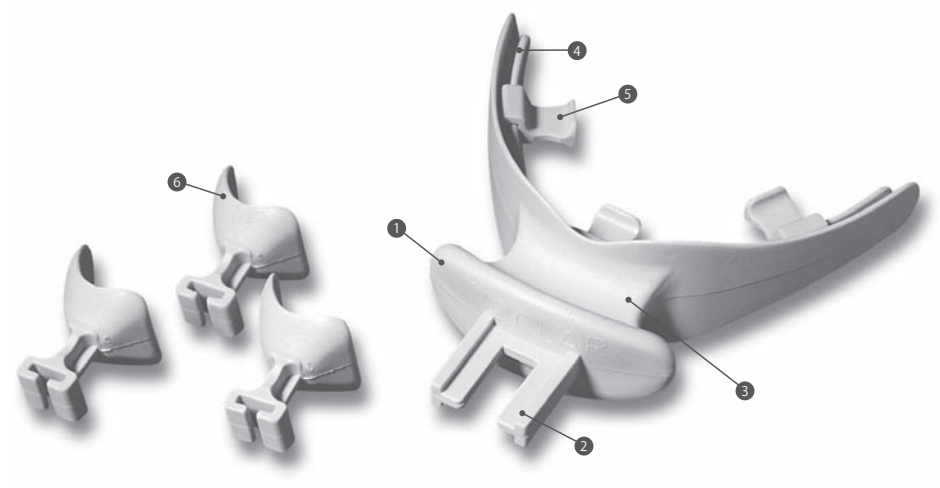


# Centric Tray

セントリックトレー 取扱説明書





セントリックトレイ

- 1 セントリックトレイ
- 2 ユニバーサルトランスファーボウ コネクション
- 3 リップサポート
- 4 リテイニングトラック
- 5 レギュラーサポート
- 6 サポートイングウィング

- Centric Tray
- UTS Transferbow connection
- Lip support
- Retaining track
- Regular support
- Supporting wings



パーツの単品販売はしていません。

## はじめに

セントリックトレーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本品は歯科専用です。本取扱説明書をよく読み、正しく使用してください。取扱説明書に従わず、誤った使用方法が原因で発生した不具合等に関して、弊社は責任を負いません。取扱説明書に記載している用途以外に使用する場合は使用者の責任のもとで行ってください。

## サインおよびシンボル

本取扱説明書では、重要な点等を見つけやすくするために、以下のサインおよびシンボルを使用しています。



注意



重要な情報

## 製品説明

補綴修復の成功は、患者の顎位を正確に印記することで大部分が決まります。顎位は上下顎で構成される三次元構造です。片顎毎の印象では顎間関係はわかりません。

セントリックトレーを使用して咬合位を印記することで、技工士は模型を適切な関係でマウントできます。さらに、ユニバーサルトランスファーボウ コネクション(2)をユニバーサルトランスファーボウ(以下 UTS 3D)に装着して、咬合器に付着できます。

## メリット

- 印象とバイトが1回のアポイントで採得できます。
- 簡単に咬合位の正確な位置がわかります。
- 簡単に上下顎の模型をマウントできます。
- 様々な大きさの顎に適用できます。
- リップサポートが得られます。
- UTS 3Dに装着できます。
- マーキングピンの記録を生理学的に調整できます(例：ナソメーター M タイプ2)。
- オートクレーブ滅菌処理と再利用が可能です。(トレーのオートクレーブ滅菌処理は130℃以下で10回程度までです。それ以上の場合、正確な寸法を記録するために必要な形状安定性が保証できません。)

## 適応症

1. 無歯顎患者
2. 有歯顎(部分的に歯が欠損している)患者

## 製品内容

セントリックトレー	×1
レギュラーサポート	×3
サポーティングウィング	×3
取扱説明書	×1

# 操作方法

## 1. 無歯顎患者

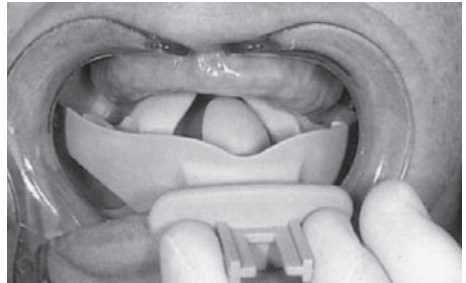
1. 通法どおり、個々の印象を採得します。

推奨する概形印象採得用トレー：  
アキュトレー システム1



2. セントリックトレーのサポーターングウィング(6)をリテイニングトラック(4)に外側から差し込みます。

セントリックトレーを試適し、必要に応じてトリミングし、調整します。



3. 咬合高径を記録するために、まず患者の鼻部とオトガイ部に印をつけます。それから以下の方法を選択します。

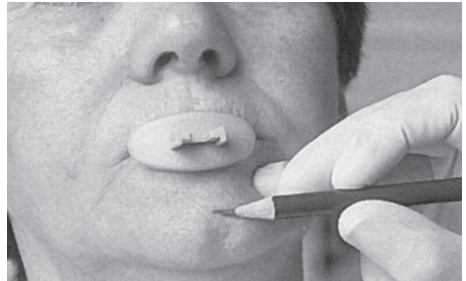
— 患者の義歯を口腔内に戻して、咬合高径を計測します。

— 印象材をつけていないセントリックトレーを口腔内に入れます。

湿らせた唇をリップサポート(3)にあて、唇でトレーを優しくサポートしてもらいます。

1～2分間そのままの状態を保ちます。

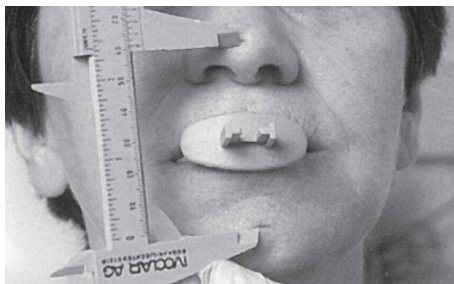
咬合高径を計測、記録し、セントリックトレーを口腔内から取り出します。



4. シリコーンやアルジネート印象材をその操作方法に従って練和し、セントリックトレーの両面に盛ります。

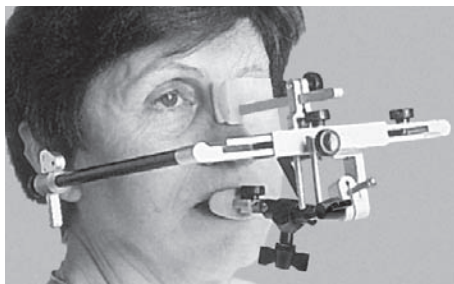
5. 印象材を盛ったセントリックトレーを患者の口腔内に入れ、下顎の上ののせます。湿らせた唇をリップサポート(3)にあて、咬合高径に達するまでゆっくりと口を閉じてもらいます。

印象材が完全に硬化したら、セントリックトレーを取り出します。



6. UTS 3Dは、咬合器へ患者に関連する情報をトランスファーします。UTS 3Dを正しく調整し、バイトフォーク コネクターにセントリックトレーを取り付けます。バイトフォーク コネクター用固定ネジを締め、患者からUTS 3Dを取り外します。

7. UTS 3Dによる咬合記録を技工士に渡し、患者の顎位に合わせて人工歯を排列します。



- ・計測した咬合高径記録が変形しないよう注意します。
- ・粘性のシリコーンやアルジネートや類似の材料を使用します。
- ・十分な量の印象材を使用します。

## 2. 有歯顎（部分的に歯が欠損している）患者

1. 通法どおり、個々の印象を採得します。

推奨する概形印象採得用トレー：

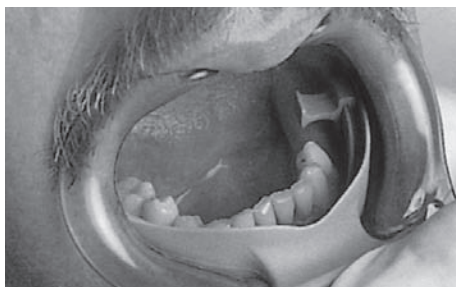
アキュートレー システム2

2. 閉口咬合位を確認します。もし反対側の対合歯間の接触関係が失われている場合、この方法ではなく、無歯顎患者のケースと同じように行います。



3. レギュラーサポート(5)をリテイニングトラック(4)に外側から差し込み、ギャップの位置にセットします。セントリックトレーを試適し、必要に応じてトリミングし、調整します。

4. シリコンやアルジネート印象材をその操作方法に従って練和し、セントリックトレーの両面に盛ります。



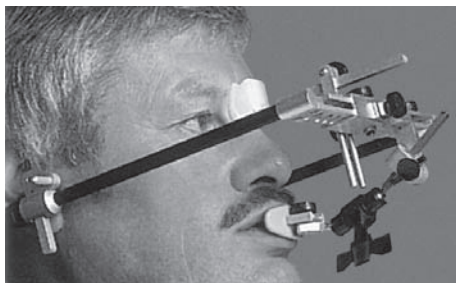
5. 印象材を盛ったセントリックトレーを患者の口腔内に入れ下顎の上ののせます。湿らせた唇をリップサポート(3)にあて、咬合高径に達するまでゆっくりと口を閉じてもらいます。

印象材が完全に硬化したら、咬合高径を計測し、セントリックトレーを取り出します。



6. UTS 3Dは、咬合器へ患者に関連する情報をトランスファーします。UTS 3Dを正しく調整し、バイトフォーク コネクターにセントリックトレーを取り付けます。バイトフォーク コネクター用固定ネジを締め、患者からUTS 3Dを取り外します。

7. UTS 3Dによる咬合記録を技工士に渡し、患者の顎位に合わせて人工歯を排列します。



## 技工操作

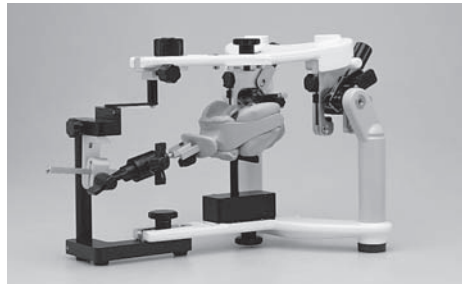
1. 印象材の余剰部分を切り取ります。  
模型上の3つの基準点を確認します。
2. 印象(バイト)上に模型を置いて、適合を確認します。



3. 上下の模型を適合させ、咬合器にマウントします。



4. UTS 3Dを使用している場合は、トランスファーボウで印記した記録を使用して咬合器にマウントします。
5. セントリックトレーを所定の位置に固定します。  
まず上顎の模型をおき、ジグで保持しながら付着した後、下顎用のジグを取り外して、下顎の模型を付着します。
6. ロウ堤付各個トレーとナソメーター M タイプ 2を使用した各個トレーを製作します。



- 模型の位置を確認します。
- 咬合器の原理を考慮します。

一般の名称：歯科印象採得用トレー  
販売名：セントリックトレー  
届出番号：13B1X10049IV0020  
一般医療機器

製造販売業者

**Ivoclar Vivadent 株式会社**

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-24

TEL:03-6801-1301 FAX:03-5844-3657

[www.ivoclarvivadent.jp](http://www.ivoclarvivadent.jp)

[info.japan@ivoclarvivadent.com](mailto:info.japan@ivoclarvivadent.com)

PR1020I01



The logo for Ivoclar Vivadent features a series of seven black dots of varying sizes arranged in a slight arc above the company name. The name 'ivoclar' is in a lowercase, sans-serif font, and 'vivadent' is in a larger, bold, lowercase, sans-serif font. A registered trademark symbol (®) is located at the bottom right of the 'vivadent' text. Below the company name, the tagline 'passion vision innovation' is written in a smaller, lowercase, sans-serif font.

**ivoclar**  
**vivadent**®  
passion vision innovation